

文化財よ、永遠に

住友財団修復助成30年記念

2019年秋、

全国4会場で一挙開催!!

仏像・絵画・歴史文書など、
多彩な修復作品を公開

泉屋博古館(京都)

9月6日(金) - 10月14日(月祝)

泉屋博古館分館(東京)

9月10日(火) - 10月27日(日)

九州国立博物館

9月10日(火) - 11月4日(月振休)

東京国立博物館

10月1日(火) - 12月1日(日)



修復には多くの思いと知恵が詰まっている!

①・⑥ 国宝 明月記 藤原定家
京都・冷泉家時雨亭文庫蔵【展示会場:泉屋博古館(京都)】、
② 仏涅槃図 長崎・春徳寺蔵【展示会場:九州国立博物館】、③ 五百羅漢図 狩野一信 東京・増上寺蔵【展示会場:泉屋博古館分館(東京)】、
④ 宝冠阿彌陀如来坐像 愛知・財賀寺蔵【展示会場:東京国立博物館】

文化財 修理 Q&A

- Q 何のために修理するの？
A 文化財は私たちの心のよりどころ。それを次世代に伝えていくためです。
- Q 修理技術はどういうもの？
A 伝統の技に加え、最新の科学も導入しています。
- Q 欠けたところはどするの？
A 復元はしません。残ったオリジナル部分の保全に努めます。
- Q 修理した文化財はもう安心？
A 脆弱なことに変わりはありません。見守り続けていくことです。

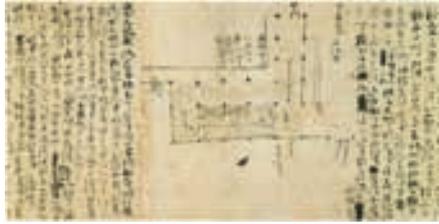


掛軸解体。絵の裏に貼られた古い裏打紙を慎重にはずす。

熊本地震直後の千手観音像(熊本・千光寺)

京都 鹿ヶ谷

〒606-8431
京都市左京区鹿ヶ谷下宮ノ前町24
開館時間：10時～17時
(入館は閉館の30分前まで)
休館日：月曜日、9/17(火)、9/24(火)
●ただし9/16(水)、9/23(月)は開館
<http://www.sen-oku.or.jp>
TEL:075-771-6411(代)



最新の
3D技術で
よみがえった
木彫仏

偉大な
歌人の
56年に
わたる
日記

右：国宝 明月記 藤原定家
京都・冷泉家時雨亭文庫蔵
左：大日如来坐像 京都・浄瑠璃寺蔵

東京 六本木

〒106-0032
東京都港区六本木1-5-1
開館時間：10時～17時
(入館は閉館の30分前まで)
休館日：月曜日、9/17(火)、9/24(火)、
10/15(火) ●ただし9/16(水)、9/23(月)は、
10/14(月)は開館
<http://www.sen-oku.or.jp/tokyo/>
ハローダイヤル:03-5777-8600



右：重要文化財 水月観音像
徐九方 泉屋博古館蔵
展示期間10/1(火)～10/27(日)
左：比叡山真景図 池大雅
練馬区立美術館蔵

浸水汚染から
よみがえった
文人画の傑作

高麗仏画の
香しき華



福岡 太宰府

〒818-0118
福岡県太宰府市石坂4-1-2
開館時間：9時30分～17時
毎週金・土曜日は20時まで夜間開館。
(入館は閉館の30分前まで)
休館日：月曜日、9/17(火)、9/24(火)、
10/15(火) ●ただし9/16(水)、9/23(月)は、
10/14(月)は開館
<https://www.kyuhaku.jp>
ハローダイヤル:050-5542-8600



修理に
2年を
要した
大涅槃



右：混一疆理歴代国都地図
長崎・本光寺常盤歴史資料館蔵
左：仏涅槃図 長崎・春徳寺蔵

モンゴル帝国の
「世界を伝える
巨大地図

東京 上野

〒110-8712
東京都台東区上野公園13-9
開館時間：9時30分～17時
毎週金・土曜日11～14月振休は
21時まで夜間開館。入館は閉館の30分前まで
休館日：月曜日、10/15(火)、11/5(火)
●ただし10/14(月)、11/4(月)振休は開館
<https://www.tnm.jp/>
ハローダイヤル:03-5777-8600



七休一具の
めずらしい
薬師如来像

右：重要文化財 千手観音菩薩立像 福井・高成寺蔵
左：七仏薬師如来立像 岩手・正音寺蔵

修理後に
重要文化財に
指定された
平安時代の
仏像



泉屋博古館(京都)

9月6日(金)～10月14日(月・祝)

千年を超え日本の政治文化の中心であった京都。平安から江戸時代まで、戦乱や天災を越え、この地に守り伝えられてきた彫刻、絵画、文書は膨大な数にのぼります。修復をへて受け継がれるのは、これら貴重な資料だけでなく、修復技術、そして精神です。

泉屋博古館分館(東京)

9月10日(火)～10月27日(日)

今に伝わる文化財は、その時代の修復や保存技術によって守られ、長い間の劣化や天災による損傷をくぐり抜けてきました。現代の技術によって近年修理された国宝や重文を含む絵画や工芸品約30点とその修復過程を紹介します。

九州国立博物館

9月10日(火)～11月4日(月・振休)

九州・沖縄に伝わる絵画や彫刻、歴史資料など、約30点をご紹介します。対外交流の盛んな九州ならではの文化財や近年の自然災害で被災した仏像などを通して、これらを守り継いできた人々の思いを見つめます。

東京国立博物館

10月1日(火)～12月1日(日)

日本の各地には多くの仏像が残っています。山間地などにひっそりとまつられる仏像からは、地域の人たちの思いが伝わってきます。東日本大震災や能登半島地震で被災した仏像を含め、大切に守り伝えられてきた仏像を展示します。

住友財団修復助成30年記念
文化財よ、永遠に
このたび、この助成事業が30年をむかえるにあたり、東京、京都、福岡の4会場にて、その軌跡を一堂に紹介する展覧会を企画いたしました。この機会に是非、修復された文化財に触れ、その素晴らしさとともに修復の意義を感じ取っていただきたいと思います。

貴重な文化財は、それを大切に守り伝えようとする人々の意志、そして先人の知恵をあつめた卓抜な修復技術に支えられながら、多くの人々の「思い」がこめられて、長きにわたり伝えられてきました。住友財団は1991年より、文化財の維持・修復の事業に助成を行い、これまでに累計千件以上に貢献してきました。



絵の裏打ち。裏から新しい和紙を貼る。